

地域林政対談 イン 鹿児島

林業の成長産業化の実現に向けて林業を着実に発展させ、地域における雇用の場の創出と所得水準の向上をもたらす産業へと転換することが極めて重要な課題となっています。

このような中で、地域の森林・林業行政を牽引されている市町村長及び県関係者と九州森林管理局の林業関係機関が、各々の地域で実際に直面している具体的な課題について、同じ視点に立って今後の地域林業政策を展開していくことを目指して、情報交換や意見交換を行う懇談の場として「地域林政対談」を実施しています。

第二十弾は、日置市の宮路高光市長にご参加いただき、地域林政の今後の展開や森林・林業の可能性などについて、意見交換を行いました。



日本三大砂丘・吹上浜

住んでよし 訪ねてよし ふれあいあふれるまち ひおき【日置市長】

日置市は、平成17年5月1日に旧東市来町・伊集院町・日吉町・吹上町の4町が合併して誕生した。本市は鹿児島県の西部、薩摩半島の中西部に位置し、東は県都鹿児島市、南は南さつま市、北はいちき串木野市と薩摩川内市にそれぞれ隣接し、西は東シナ海に面している。

森林面積は約1万5千ヘクタールで、市総面積の約6割を占め、このうち民有林は約1万3千ヘクタールであり、約6割が人工林である。また所有形態別の割合は、国有林約13%、県有林約1%、市有林約3%、私有林約83%となっている。日置市内のスギ・ヒノキ人工林の林齢は9齢級（41年生〜45年生）がピークとなっており、木材として利用するのに適した森林が大半を占めてきている。間伐ではなく主伐をしていかなければならない時期にきている。そういう中において、森林を豊かにしていくためにはどうしたらいいのか考えていかななくてはならない。



宮路高光 日置市長

平成27年2月に森林・林業の再生に向け、森林のもつ多面的機能の高度発揮と資源の循環利用を図るため、かごしま森林組合、鹿児島森林管理署、（公社）鹿児島県森林整備公社、（独）森林総合研究所森林農地整備センター鹿児島水源林整備事務所、鹿児島地域振興局と積極的に連携・協力し、効率的な森林整備の実施に取り組むことを目的とした「日置市森林づくり推進協定」を締結した。行政だけではなく森林組合等も入れて、地域の皆で日置市の森林を育てていこうというものである。市町村全域を対象とした協定は、九州初の事例であり今後も森林の保全・育成に努めるとともに、林道・作業道等の整備

や高性能林業機械の導入等による効率化を図っていく必要がある。また、日本三大砂丘の一つ、白砂青松の吹上浜と松林の景観を守るため、松くい虫の被害予防（ヘリによる空中散布、地上散布）と駆除（伐倒駆除、樹幹注入駆除）を徹底し、枯損箇所等へのマツ苗の植樹活動を実施していく必要がある。さらに、本市の森林は急峻な地形が多いため、災害等による林地崩壊や土砂流出等に対して治山事業を活用し、市民の安全や家屋等の保全に努める必要がある。

平成24年度から、森林整備を行うことで得られる二酸化炭素吸収量を認証してクレジット化し、二酸化炭素排出量の埋め合わせとして販売するかごしまエコファンド制度を活用した地球温暖化対策を推進している。プロジェクト名は「日置市の吹上浜海岸・白砂青松地を守り、ウミガメの故郷を守ろうプロジェクト」とし、平成30年度はクレジットの活用方法として物産館や漁港の外灯・防犯灯を省エネ機器（LED）へ交換することを計画している。

また、平成28年度からは、県森林環境税関係事業（里山林総合対策事業）を活用し、東市来町美山地区で雑木竹林の伐採整理、吹上町中原にある亀丸城跡地区で里山林の森林整備等を継続して実施している。

今年度は、吹上地区入来浜自治会が事業主体となり県森林環境税関係事業（木のあふれる街づくり事業）を活用し、入来浜自治会の小高い丘にある若宮神社付近に鹿児島県産スギを利用して、吹上浜の景色を一望できる展望台やウッドデッキ、木柵工を特定非営利法人「森と木の研究所」と協働で建設し、東シナ海に沈む夕日や金峰山に昇る日の出を眺めることができ、日置市の観光スポットとしての活用が期待される。

入来浜は潮干狩りや魚釣りなど年間を通して観光客が多いことから、地域の景観を維持するため、海岸から吹上漁港周辺などの清掃活動を入来浜自治会員で行っている。入来浜には国有林の松林もあることから、地元で松林の維持管理等を行えるよう平成29年10月19日に多様な活動の森「入来浜白砂青松の森林」を鹿児島県森林管理署と協定を結んだ。将来的には観光産業へ繋げるために鹿児島県産の木材を利用し、遊歩道整備やベンチ等の設置を計画している。

(再造林の確保に向けた担い手等の育成)

日置市長 市内の人工林は伐期を迎えているが、再造林が進んでいないことを懸念している。伐つたら伐りっぱなしのように感じる。日置市では、伐採から再造林、下刈までをセットにした5ヶ年契約を締結した際に、1ヘクタール当たり百万円の補助を出しているところ。再造林はコストがかかるので、少しでも進むように、森林組合等に対する助成を拡充してもらいたい。災害を防ぐためにも再造林の予算を確保していく必要があると思っている。

また、担い手の確保も必要である。現状では林業に従事している者は生活していくことができないような状況である。森林組合等で常用雇用することで生活を支えているが、担い手の確保のためにはさらなる助成等が必要であると感じている。

長らく、木材価格が低迷している。輸入材の価格等が木材価格を不安定にしてしまったのではないかと感じている。近年、輸出やバイオマスの需要拡大により木材価格は安定してきていると感じるが、林業の活性化のためには、現行の補助等の活用に加えて、国の森林環境税など活用することを検討していく必要がある。

不在村地主の対応も課題である。市へ寄附したいという話もあるが、いただいても維持管理していく力はない。改善策を検討していただきたいと思っている。

鹿児島森林管理署長 再造林の推進は林業の活性化のため大きな課題であると認識している。国有林でも、特に南薩地域では事業を発注しても実質、森林組合しか受注してくれる事業体がないなど、苦慮している状況であり、担い手の問題は顕在化している。林業従事者を雇用するためには、事業を安定的に発注する必要がある。

日置市長 担い手を育成するような力を持った事業体がないのが現状である。森林組合の業者も高齢化している。全産業が人手不足のなか、賃金が安く、林業に人が集まらない。都市部からインターンなどで来ていただいても、長く続かないのが現状である。現実是非常に厳しい。行政がそういった状況を把握しながら、対策を検討していかなければならない。

九州森林管理局長 林野庁でも、緑の雇用事業など担い手対策を実施しているところ。国有林の森林整備事業等についても、今は全て委託に出しており、事業体の育成は重要であると考えている。国有林では、事業体の方々が少しでも仕事をやりやすくなるようにするため、伐採と造林を一括発注する、また複数年で契約するなど、発注の仕方を工夫しているところ。一括発注すると、伐採した後のことを考えて伐採、搬出することから、地拵がいらないほど綺麗に枝条整理をするなどの効果も期待でき、コストも下がると考えている。今後は、意欲と能力のある林業経営体に対して重点的に支援するなど、担い手の育成を図っていきたい。

日置市長 伐採とセットにしなければ、再造林は進まない。現在、5ヶ年かけて伐採から下刈までをセットにした契約を実施しているところ。そういった契約をモデルとして、1ヘクタール当たりの単価を算出したいと考えている。



日置市森林づくり推進協定調印式



九州育種場で検定中のエリートツリー候補木

九州森林管理局長 国有林では、中苗などの成長の優れた苗木の活用など、林業の低コスト化に向けて取り組んでいるところ。林業事業体には、林業の低コスト化により生産性を上げたうえで、十分な事業量を確保して収益を上げてもらいたいと考えている。

トータルコストを下げ、効率的に作業をしなければならない、事業体も育たないと思うのでバランスが大事。

日置市長 伐採、再造林、路網整備、機械化などそれぞれバラバラに検討するのではなく、セットで考えることで、林業の低コスト化を図ることができ、森林整備も進んでいくのではないかと思う。

九州森林管理局長 今後、意欲と能力のある林業経営体を重点的に支援していくとともに、整備の対象とするエリアについても重点地区を設定するなど、必要な箇所に対して重点的に支援する方針である。

日置市長 将来の林業を見据えたとき、今後10年が非常に重要である。木材利用だけではなく、災害防止の面からも適切に森林を整備していく必要がある。

九州森林管理局長 市町村には林地台帳の整備に加えて、新たな森林管理システムのスキームの中心になっていただく。森林環境譲与税の財源を活用して、森林整備等に積極的に取り組んでもらいたい。

鹿児島地域振興局農林水産課長 鹿児島県の森林環境税と併せてしっかりと取り組んでいきたい。

（吹上浜海岸林の保全について）

日置市産業建設部長 吹上浜の松林は、地域住民にとって非常に身近な存在であり、なくてはならない市の財産である。森林管理署には、敷化した松林の整備や、よりよい薬剤の使用を含めた松くい虫被害の防除など積極的に取り組んでいただきたい。

日置市農林水産課長 吹上浜の松くい虫被害は拡大しているのではないかと感じる。また、森林組合は、秋から春先にかけて枯れた松の伐倒駆除に追われており、その他の事業が受注できない状況である。担い手がたくさんいればいいが、そういった状況が続いているところ。伐倒駆除だけではなく防除も含めて検討していかなければならない。

鹿児島森林管理署長 鹿児島森林管理署としても、海岸林の保全は地域の方々のために非常に重要であると認識している。昨年、今年と入込者の多い等の特定箇所について、除伐も実施したところ。今後もしっかり状況を踏まえ、優先順位を検討しながら適切な保全管理を実施していく。

九州森林管理局長 佐賀県唐津市の虹の松原などの取組も参考にしつつ、地域住民の理解も得ながらしっかりと取り組んで参りたい。



吹上浜海岸林

地域林政対談 イン 鹿児島

平成30年3月14日(水) 10:30~12:00

日置市役所庁議室

出席者(敬称略)

○日置市

宮路 高光	日置市長
瀬川 利英	産業建設部長
城ヶ崎 正吾	農林水産課長
秋丸 昇平	農林水産課林務水産係長

○鹿児島県

山之口 猛	鹿児島地域振興局林務水産課長
-------	----------------

○林野庁九州森林管理局

原田 隆行	九州森林管理局長
中西 誠	鹿児島森林管理署長
福山 拓也	鹿児島森林管理署総括地域林政調整官
勝沼 太志	九州森林管理局企画調整課長
江上 麻里子	九州森林管理局企画調整課林政推進係長

